

◆ 沿革

年 度		出 来 事
明 治 西暦 1896	2 3	道後湯之町道後村学校組合立道後尋常小学校設立
	2 9	新校舎落成
	3 8	新学校組合設立、本校新設
	3 9	道後湯之町に湯築尋常小学校を分離設置
	4 0	湯築尋常小学校校舎新築落成
大 正	3	高等科設置
	5	宝厳寺山に学校林を新設
	1 2	湯築小学校と道後小学校を合併
昭 和 西暦 1931	元	新校舎（姫塚校舎）落成（湯築尋常高等小学校）
	6	校旗（旧校旗）新調
	9	東校舎増築落成
	1 3	南校舎 2 階 8 教室新築落成
	1 5	道後家政女学校を併設
西暦 1940	1 6	道後国民学校と改称
	1 9	松山市に合併、松山市道後国民学校と改称
	2 0	終戦
西暦 1970	2 1	学校給食開始、給食委員会発足
	2 2	6・3・3 制実施、松山市立道後小学校と改称
	2 6	南校舎改築落成
	3 0	北校舎 2 教室増築落成
	3 1	校歌制定
	3 9	松山市立湯築小学校を分離新設（4 0 年 3 月まで同居）
	4 0	留守家庭児童会（風の子学級）発足
	4 3	学校所在地名変更（松山市道後姫塚 116-3）
	4 4	新校舎（鉄筋 4 階建）落成、現在地（石手）に移転、新校舎落成式典ならびに記念行事挙行
	4 5	体育館落成式典ならびに記念行事挙行
	4 6	水泳プール新設 6 コース 2 5 m
	4 7	図画工作美術研究大会（西日本大会）会場校
	4 8	健康（病弱虚弱）学級設置
	4 9	フィリピン中高教員招聘団（19 名）教育視察来校
	5 0	東校舎増築落成（6 教室）
	5 2	運動場北側教材園設置、校舎屋上の外壁に校章を設置、洗口場新設、卒業制作「根っこ」
	5 5	中華全国婦女連合会代表团 12 名視察
	5 7	学校歯科保健推進努力賞（奥村賞）を受賞
	5 8	共同調理場方式による給食の開始
西暦 1980	5 9	中日友好訪日代表团王震団長外 16 名視察、岡崎文庫開設
	6 0	簡保会発足、青少年赤十字に加盟
	6 1	プール改修工事、渡り廊下付設（体育館と新校舎の間）
	6 2	体育館グラウンドピアノ購入（P）、第 10 回全日本音楽教育研究大会会場校
	6 3	全国よい歯の学校表彰を受賞
平 成 西暦 1990 平成 2	元	創立百周年記念大運動会と式典挙行、校旗新調、タイムカプセル埋設、創立百周年記念誌「道後」発刊
	3	校舎（本館）改修第 1 期工事完了、新体育館工事完了
	4	校舎（本館）改修第 2 期工事完了、新体育館落成記念式典挙行
	5	西門・周辺フェンス・飼育小屋・池改修工事完了、東校舎屋上改修工事完了、第 2 9 回松山管内大会会場校
	5	学校北側三角地校地拡張工事完了、新校地に相撲場新設、土俵開き 横綱曙関来校
	6	第 4 5 回放送教育研究会全国大会会場校
	7	プール周囲フェンス改修工事、学校基本調査文部大臣表彰を受賞
	8	本館防犯警備システム設置
	9	校地北側に倉庫新設、東校舎改修工事完了、第 24 回全国小学校国語教育研究大会会場校、教育相談室工事完了
	1 0	コンピュータールーム完成、スクールカウンセラーによる教育相談開始、創立 110 周年記念式典挙行、全国小学校管楽器合奏フェスティバル西日本大会参加
	1 1	音楽鑑賞会開催松山市出身ピアニスト林澄子さん、フランスのバイオリニストデルクロールさん来校
	1 2	愛媛県歯科保健功労者知事表彰受賞
	1 3	愛媛県教育研究大会松山管内大会会場校
	1 4	文部科学省学力向上フロンティアスクール指定校（3 年間）
西暦 2000	1 5	第 36 回中国・四国算数・数学教育研究大会会場校、正門改修（松山市の花「椿」と校章の陶板取り付け）
	1 6	全日本学校歯科保健優良校表彰を受賞
	1 7	校内 LAN 整備、桜・欒移植、「学校でキャンプ」（PTA、おやじの会主催）実施
	1 8	青少年赤十字愛媛県大会会場校、全国人権同和教育研究大会愛媛県大会会場校
	1 9	文部科学省委託「地域ぐるみの学校安全モデル地域推進事業」指定校（1 年間）、松山市教育研究大会会場校（国語）、「セーフティ道後」記念講演会
	2 0	学校安全優良校表彰を受賞（日本スポーツ振興センターより）
	2 1	創立 120 周年記念式典挙行、道後小 5 つのゆめのキャラクター作成（児童会）
	2 2	第 1 回道後っ子マラソン大会、本館校舎耐震補強工事、図書館及び第 2 音楽室にエアコン設置
	2 3	学校安全文部科学大臣表彰を受賞、階段昇降機設置
	2 4	四国造形教育研究大会会場校
	2 5	松山市教育研究大会会場校（図画工作科）
	2 6	愛媛県学校保健優良学校表彰、こども音楽コンクール西日本優秀校音楽発表会出場・松山市青少年善行表彰（金管バンド部）
	2 7	道後児童クラブ校内移転・新築（2 階建て）完了
	2 8	松山市教育研究大会会場校（理科）、松山市幼保小中連携事業研究指定校訪問
西暦 2010	2 9	全国小学校管楽器フェスティバル 金管バンド部出場（神戸文化ホール）、空調設備整備
	3 0	松山市情報教育授業研究会会場、こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会 金管バンド部出場（大阪府池田市）
令 和 西暦 2020	元	創立 130 周年記念行事開催、創立百周年記念タイムカプセル開封
	2	G I G A スクール環境整備（児童 1 人 1 台タブレットパソコン）、全国小学校管楽器フェスティバル（西日本大会）オンライン会長賞
	3	改修工事（電灯の LED 化、トイレの洋式化、パソコン室を普通教室 2 部屋、東校舎 1 階を児童クラブ、「のめるん」の設置）
	4	全国小学校管楽器合奏フェスティバル（西日本大会） 金管バンド部出場
	5	第 1 6 回響け言霊ことばのがっしょう群読コンクール金賞受賞
	6	全国小学校管楽器合奏フェスティバル（西日本大会） 金管バンド部出場
	7	学校づくり推進協議会（コミュニティスクール）発足

令和8年度

学校要覧

～ 創立137年～



校歌

和田 茂樹 作詞
清家嘉寿恵 作曲

一
伊予の出湯の ほのかなかおり
昔ながらに ゆたかにただよい
湯築の岡辺に 希望いだき
みんななかよく 楽しく博く
つとめ学ばん

二
緑の山脈 南に遠く
石手さやかに 広野を流れて
瀬戸の海原 はるか ひらけ
みんな元気で 明るく強く
きたえはげまん
のびゆく われら
道後に 栄あれ



松山市立道後小学校

〒 790 - 0852 松山市石手四丁目 1 0 番 5 号

TEL (089) 941-0228 FAX (089) 933-9948

ホームページ <http://dogo-e.esnet.ed.jp/>

メール s.dougo001@matsuyama-edu.ed.jp

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 20	
松山市立道後小学校							
校長名	河淵 陽子	学級数	25 (4)	児童数	640	教職員数	35

<学校の教育目標>



自らの玉の石をみがく道後っ子

「玉の石」はこころ・あたま・からだを表す

目指す児童の姿

道後小学校5つの夢

にっこ



にこにこ
あいさつ
ひびく声
【笑顔力】

あっせ



元気
まんまん
外遊び
【挑戦力】

ピッカ



そうじで
学校も心も
ピッカピカ
【だいじそうじ】

ルッカ



しっかり守る
みんなの
ルール
【安心・安全】

コロン



やさしい心で
いきいき
道後
【まごころ】

こころをみがく

- ・あいさつと返事
- ・感謝のこころ
- ・支持的風土の
集団づくり
【豊かな心の育成】

あたまをみがく

- ・主体的・対話的な
「学び合い」
- ・読書、学習習慣
- ・ICTの活用
【確かな学力の定着】

からだをみがく

- ・命を大切にする態度
- ・心身の健康づくりと
食育の推進
- ・体力づくり
【健やかな心身の育成】

★教職員は、子どもをほめて、認めて、励まし、応援・支援します！

★教職員は、子どもと向き合う時間を確保し、「チーム道後」で取り組みます！

笑顔あふれる安全・安心な学校

学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

- ・地域の人や自然・歴史・文化を生かした体験学習の充実
- ・コミュニティ・スクールを生かした教育活動の推進

家 庭

基本的な生活習慣の定着
家庭学習の習慣化
家族の一員としての自覚

地 域

社会性の育成
生涯学習の基礎づくり
社会の一員としての自覚

「ふるさと道後」を愛する道後っ子

◆ 教職員組織

	職 名	氏 名	担任・校務	教科等主任
1	校 長	河淵 陽子		
2	教 頭	亀岡 修		総務・指導・管理、避難訓練
3	主幹教諭	阿部 泰成	理科専科	教務
4	教 諭	豊島 有希	○ 1－1	学年、新入学児就学事務
5	〃	岡田 優佳	1－2	学校図書館
6	〃	富永由紀子	1－3	図画工作
7	〃	佐伯 和代	○ 2－1	学年、学習アシスタント
8	〃	山本 知津	2－2	生活・幼年
9	〃	新山 圭一	2－3	道德教育
10	〃	山岡 千秋	○ 3－1	学年
11	〃	武藤 小珠	3－2	拾得物
12	〃	吉田 慎吾	3－3	理科
13	〃	杉山 暢	4－1	国語
14	〃	築家詩津子	○ 4－2	学年、社会
15	〃	岡崎 怜央	4－3	飼育
16	〃	高岡美和子	4－4	校内初任者指導
17	〃	竹本 歩	5－1	生徒指導
18	〃	濱本 絃子	5－2	特別活動
19	講 師	芝田 美紀	5－3	総合的な学習
20	教 諭	川上 洋文	○ 5－4	学年、人権・同和教育
21	〃	渡部 寛人	6－1	体育
22	〃	中野 志保	○ 6－2	学年、進路、家庭科
23	〃	今井 宏典	6－3	学力向上、算数・統計
24	〃	渡部 珠生	6－4	研修

◆ 児童数（令和8年5月1日現在）

学年	項目	男	女	計
1 年		47	30	77
2 年		33	50	83
3 年		51	54	105
4 年		67	57	124
5 年		58	53	111
6 年		57	62	119
特別支援		16	5	21
計		329	311	640

◆ 学校周辺



	職 名	氏 名	担任・校務	教科等主任
25	教 諭	有田 恵子	にこにこくみ（自閉症・情緒）	特別支援教育コーディネーター
26	〃	中下 裕文	にこにこくみ（自閉症・情緒）	視聴覚
27	〃	長谷川裕子	○なかよし（知的）	学年
28	講 師	平田 香代	わくわく（難聴）	学校給食
29	教 諭	泉 恵子	音楽専科	音楽
30	〃	加藤 美早	外国語専科	外国語・国際理解
31	講 師（再任用）	稲田 徳明	理科等専科	副教材
32	講 師（再任用）	細川 誌朗	理科等専科	教科書
33	非常勤講師	八木 幸子	書写・図工・なかよし	
34	教 諭（育休中）	新土居和子		
35	教 諭（育休中）	宮本 美帆		
36	教 諭（育休中）	河井 麻友		
37	養護教諭	上谷 友紀	保健主事	養護
38	養護教諭	大澤 彩乃		養護
39	栄養教諭	武田 幸美		食育
40	主 任	大窪 麻衣		学校事務
41	校 務 員	川野 康博		
42	〃	上田 潔		

◆ 校時表

時刻	月	火	水	木	金
8：00	学級	輪話とタイム	道後タイム	学級	読書
8：15	朝の会・健康観察				
8：25	移 動・休 憩				
8：30	1 校 時				
9：15	移 動・休 憩				
9：25	2 校 時				
10：10	業 間				
10：30	3 校 時				
11：15	移 動・休 憩				
11：25	4 校 時				
12：10	給 食				
12：55	は み が き				
13：00	昼 休 み				
13：20	清 掃	13:25～14:10	清 掃	13:25～14:10	清 掃
13：35	休 憩・移 動	5校時	休 憩・移 動	5校時	休 憩・移 動
13：45	5 校 時	14:10～14:25	5 校 時	14:10～14:25	5 校 時
14：30	休 憩・移 動	帰りの会	休 憩・移 動	帰りの会	休 憩・移 動
14：40	6 校 時	14:30～15:15	6 校 時	14:30～15:15	6 校 時
15：25	帰 り の 会	クラブ・委員会	帰 り の 会	クラブ・委員会	帰 り の 会
15：40		15:20		15:20	
15：50		下校完了		下校完了	



校章の由来

日本の国花「桜」の中に「玉の石」を配したもので、「桜」は人の和を、「玉の石」は健康（こころ・からだ）を表す。

「玉の石」は道後温泉につかって病気が快癒した
すくなひこなのみこと
少彦名命が、温泉の近くの石の上で喜びの舞を舞った
と言われる石である。（伊予国風土記逸文）



道後温泉北側にある「玉の石」



道後温泉の屋根瓦にも玉の石がデザインされている